

home > MYTOWN > 山口 >

2004年11月25日 更新

企画特集

[長州ファイブの挑戦 新時代を求めて]

⑥伊藤博文、井上馨／長州人政治家の軌跡

時代超え岐路に重要な役割
「礼節」「志」、源流に松陰の教え



関門海峡の外国船を砲撃した長州砲の模型。戦争を止めようと、伊藤と井上は帰国した＝下関市で
ばす。帰って攘夷論をひっくりかえそうと井上も同意した」

下関市の関門橋たもとの公園に、大砲の模型がある。1863(文久3)～64年、長州藩が外国排斥の攘夷(じょうい)を掲げ、関門海峡を通る外国船を砲撃した「天保製長州砲」だ。

当時ロンドンに留学していた伊藤博文と井上馨は、この砲撃をやめさせようと、再び帆船に乗って帰国した。64年7月、密航から半年余りのことだ。伊藤はこう記す。

「馬関で攘夷を始めた……。是(これ)は打捨て置くくどうしても國を亡(ほろ)

外国を追い払おうと世論が高まるなか、英国の国力を直接目にした2人には「攘夷は国益に反する」との強い信念があったようだ。

× ×

それから140年。日本の世論はイラク戦争、イラクへの自衛隊派遣をめぐって揺れている。

昨年12月、山口市内での祝賀会で安倍晋三自民党幹事長、河村建夫文部科学相は自衛隊派遣の必要性を強調した。

安倍氏「国際社会の目的に向かって我が国も責任を果たしていかなければならない」

河村氏「イラクの平和復興に尽力するのは日本に課せられた責務だ」

一方、反対論は政府内からも出た。代表的なのは下関市出身の元外交官、天木直人さん(56)。ベストセラー「さらば！外務省」の著者だ。

昨年3月、レバノン大使だった天木さんは政府方針に反し、「国連決議なしの対イラク攻撃を阻止すべき」と小泉首相らに公電を打った。

だが、公電は無視され、政府は攻撃を支持。天木さんは約5カ月後、外務省を解雇された。

天木さんは著書で外務官僚を实名で非難し、執筆活動を通じ日本外交を批判する。「武力をイラクへ持ち出すことが本当に解決なのか。経済格差をなくす努力など、日本がすべきことは他にいくらかもある」

政府・与党を支える安倍、河村両氏。在野で国を憂う天木氏。立場は違うものの、両者に共通するのは「国益は何か」を追求する姿勢だ。

× ×

伊藤は1885年、明治政府で初の内閣総理大臣に就任。大日本帝国憲法の

地域情報

列島ニュース一覧

- | | | |
|-----|-----|-----|
| 北海道 | 青森 | 森 |
| 岩手 | 宮城 | 城 |
| 秋田 | 山形 | 形 |
| 福島 | 茨城 | 城 |
| 栃木 | 群馬 | 馬 |
| 埼玉 | 千葉 | 葉 |
| 東京 | 多摩 | 摩 |
| 神奈川 | 新潟 | 潟 |
| 富山 | 石川 | 川 |
| 福井 | 山梨 | 梨 |
| 長野 | 山崎 | 崎 |
| 静岡 | 愛媛 | 媛 |
| 三都 | 滋賀 | 賀 |
| 京庫 | 大阪 | 阪 |
| 兵山 | 奈良 | 良 |
| 和歌山 | 鳥取 | 取 |
| 島根 | 山口 | 口 |
| 広島 | 山香 | 香 |
| 徳島 | 高知 | 知 |
| 愛媛 | 福岡 | 州 |
| 佐賀 | 北九州 | 崎 |
| 宮崎 | 長崎 | 分 |
| 沖縄 | 鹿児島 | 島 |
| | | USA |

新聞購読案内

- データベース案内
- ケータイ向けサービス
- ニュース映像
- 会員サービス
- 朝日新聞社から
- 今日の朝刊

- 山口の天気 [各地の天気]
- ニュース
- 朝日懇話会やまぐち
- 企画特集
- 高校野球
- 読者の広場
- 朝日新聞社のイベント
- 朝日さんさん広場
- 地域の取材網



草案づくりに携わるなど、4度首相を務めた。井上は初代外相として不平等条約改正に奔走する。山県有朋、桂太郎、寺内正毅、田中義一、戦後は岸信介、佐藤栄作。首相を見ても山口県は7人と全国最多だ。

作家の故・司馬遼太郎氏は長州人を「行政能力にすぐれ、しばしば政略的(ポリティカル)。権力の操作が上手で人事の能力に長(た)けている」と評し、代表格に伊藤を挙げた。

「山口県から政治力をもったひとびとが、つぎつぎにでてきたのは、なにかその地に遺伝子とか特別なウイルスのようなものがあるのではないか」。司馬氏はこうも記す。

× ×

その「遺伝子」を、河村文科相は地元・萩市の松下村塾で伊藤や井上を育てた吉田松陰(1830~59)に求める。「良き友を作り、行動するという教えに影響を受けた長州人は多い」

萩市では今も市内の小学4年生全員に松陰の生涯や功績をまとめた「松陰読本」を配布する。「礼節、志を立てる姿勢や教えを子供たちに学んで欲しい」と、社会や道徳の授業に使っている。

いま国政の根幹である教育問題に取り組む河村氏も、教育の原点を松陰に求める。「一人一人の長所を見いだした松陰のような教育者を育てることが課題だ」

× ×

天木さんはいまの時代を「明治維新、第2次世界大戦より大きな転換期」と位置づけ、「日本人一人一人がどんな国を目指すのか、もう一度自らに問い直すべき時ではないか」と問いかける。

「東洋一小島を以(もつ)て欧州諸強国と対峙(たいじ)せんと欲す」。そう伊藤が意気込んだ明治の日本。長州ファイブが挑んだ国づくりは今も私たちの身近に息づいている。

＝おわり

(この連載は宮地ゆうが担当しました)

(1/22)



長州ファイブが学んだ大学の記念碑。トレレヴァン学長代理は誇らしげだ＝ロンドンのUCL構内で

[社会](#) | [スポーツ](#) | [経済](#) | [政治](#) | [国際](#) | [サイエンス](#) | [文化・芸能](#) | [ENGLISH](#) |

ニュースの詳細は朝日新聞へどうぞ。購読の申し込みはインターネットでもできます。

asahi.comに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

[著作権](#) | [リンク](#) | [プライバシー](#) | [広告掲載と注意点](#) | [アサヒ・コムから](#) | [朝日新聞社から](#) | [問い合わせ](#) |

Copyright 2004 Asahi Shimbun. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.